



Creative Application A27

メディア実装の実践3 メディア創発 - 開花・継承・浸透

2025年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

メディア実装の実践に触れるにあたって

- ▶ **実践における準備・概念的議論になる点ご容赦ください**

- ▶ 広い分野を包含すると抽象度が高くなる
- ▶ 具体的な実践テクニックに落とし込みづらい
- ▶ 実践の概念を押さえ、各自で実践実行に溶かし込んでほしい

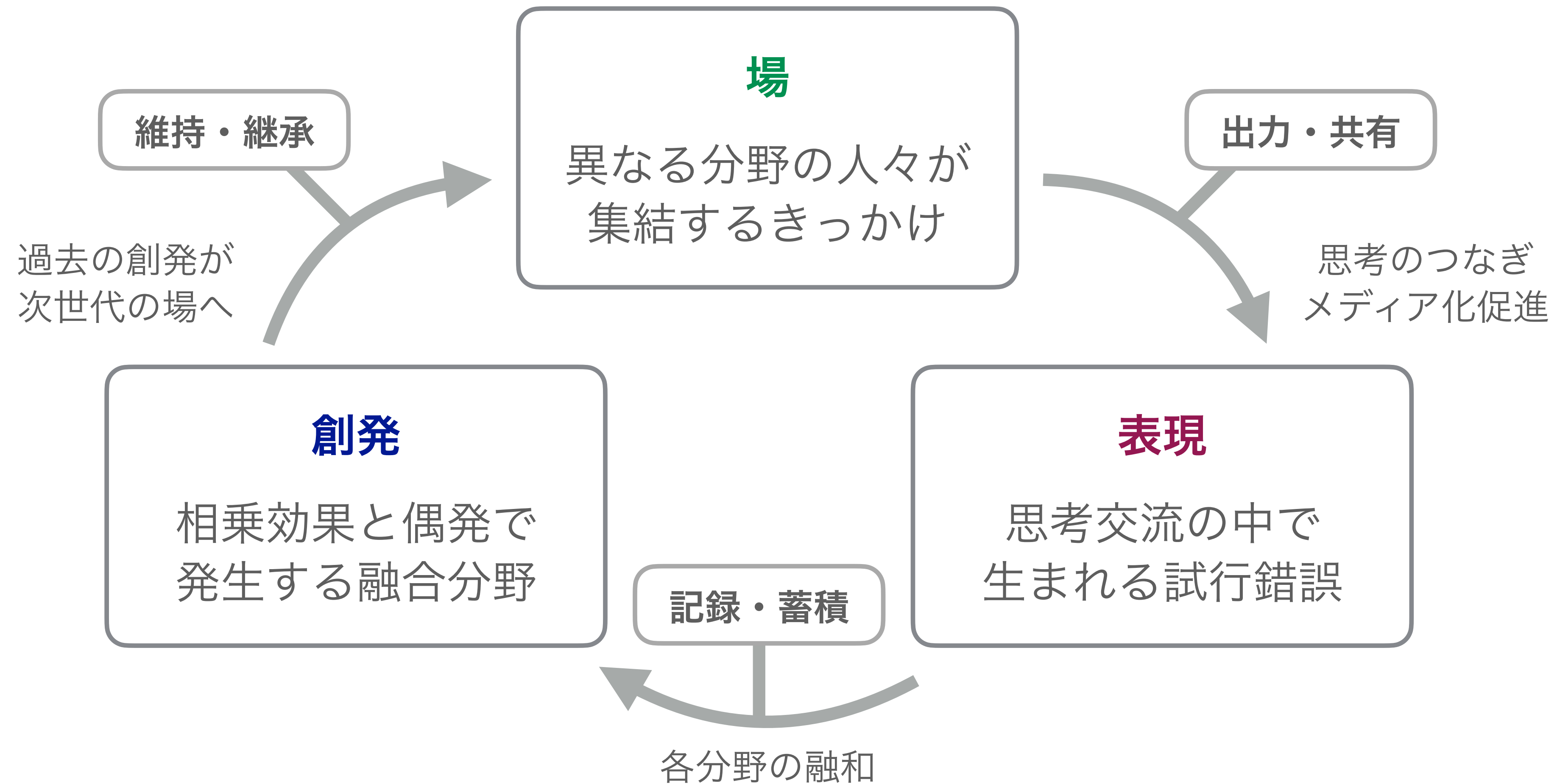
- ▶ **構築中途の概念です**

- ▶ 概念整理もまだ中途なので、受講者各位にもぜひご意見いただきたい
- ▶ 主観的な自分事に紐づけて具体的イメージを膨らませながら受講していただきたい

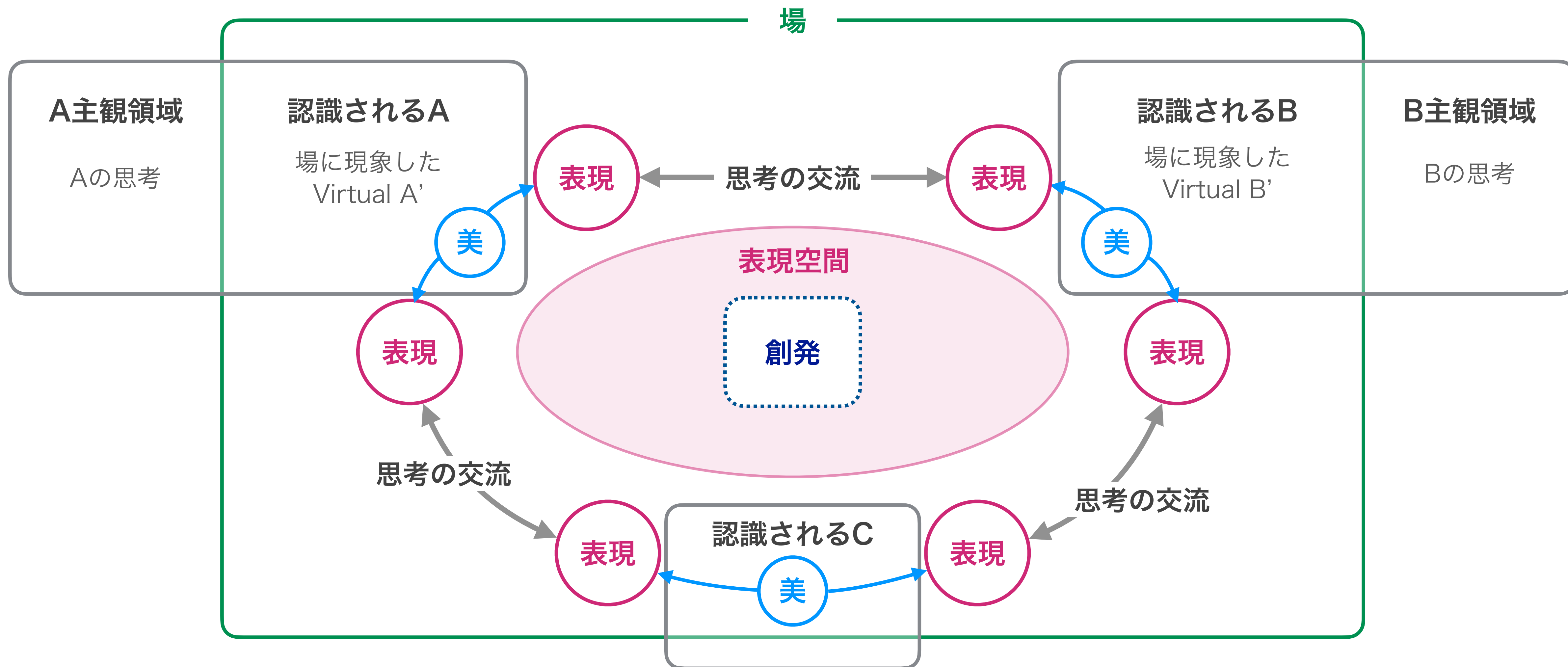
本日のテーマ

- ▶ **メディア創発と社会の変容・適用・その後**

[A04] メディア・サイクル



[A12] メディア・モデル



[A15] メディア実装 (2025渡邊)

- ▶ **メディア実装**

- ▶ **「複数分野の研究開発と実社会を結びつけて活性化し、
社会に有益な物事として実現すること」**

メディア実装の創発1 - 蓄積による開花準備

▶ 創発を捉える

- ▶ メディア実装を多く蓄積しメディア創発に備える (メディア表現, メディア実装, アーカイブ)
- ▶ メディア創発の開花を見逃さず捉える (観察, 捕捉, メディア化)

▶ 個人としての動き

- ▶ 合一表現の相乗効果を検証する (メディア実装, マルチメジャー, 合一表現, 相乗効果, 検証)
- ▶ 目的に限らず, 社会的利益のある表現に注力する (メディア実装, 社会的効果, 改良)

▶ 場としての動き

- ▶ メディア実装の保存性・アクセス性を点検する (アーカイブ, メンテナンス)
- ▶ 蓄積された表現間の関連性を整理し再解釈する (オーガナイズ, メディア性検証)

メディア実装の創発2 - 創発後の社会の適応

- ▶ **メディア創発の本質を見出す**

- ▶ メディア創発の影響を見極める (相乗効果, メディア性検証, 効果検証)
- ▶ 相乗効果の維持を目的とした場を適応変化させる (メディア創発, 持続性, 適応)

- ▶ **個人としての動き**

- ▶ 創発後社会で自分の立ち位置を再確認する (メディア場, 適応, ノート, メッセージング)
- ▶ 創発による周辺変化を採り入れて表現を更新する (メディア表現, 適応, 改良)

- ▶ **場としての動き**

- ▶ 創発による場の価値変化を分析する (適応, 組織デザイン, 組織更改, メディア性検証)
- ▶ 場の変化の記録を保管する (コミュニティ, メッセージング, アーカイブ, インフラストラクチャ)

メディア実装の創発3 - 創発の浸透とそれから

▸ メディア創発の社会浸透

- メディア創発の効果を社会に定着させる (普及, 浸透, 透明化, インフラストラクチャ)
- 記録と普及を維持しつつ地盤をつくる (アーカイブ, インフラストラクチャ, メディア場)

▸ 個人としての動き

- 場と独立した個人としてを解釈する (ノート, 思考更新, コネクション)
- 個人として新たな地盤の受け容れを検討する (アーカイブ, 観察, 継承, ノート, 挨拶)

▸ 場としての動き

- 場の在り方を検討する (維持, 更改, 解散, マネジメント, プランニング, インフラストラクチャ)
- 記録を継承する別の場を確保する (オーガナイズ, アーカイブ, インフラストラクチャ, メディアデザイン)

まとめ

- ▶ **メディア創発の発生前後と周辺の変容や検証の必要性について触れた。個人や場の振る舞いについても考察した。**
 - ▶ 蓄積による開花準備
 - ▶ メディア表現, メディア実装, アーカイブ, 観察, 捕捉, メディア化, マルチメジャー, 合一表現, 相乗効果, 検証, 社会的効果, 改良, アーカイブ, メンテナンス, オーガナイズ, メディア性検証
 - ▶ 創発後の社会の適応
 - ▶ 相乗効果, メディア性検証, 効果検証, メディア創発, 持続性, 適応, メディア場, ノート, メッセージング, 改良, 組織デザイン, 組織更改, メディア性検証, コミュニティ, アーカイブ, インフラストラクチャ
 - ▶ 創発の浸透とそれから
 - ▶ 普及, 浸透, 透明化, インフラストラクチャ, アーカイブ, メディア場, ノート, 思考更新, コネクション, 観察, 継承, 挨拶, 維持, 更改, 解散, マネジメント, プランニング, オーガナイズ, メディアデザイン
- ▶ **メディア創発はパラダイムシフトのきっかけとなり得る。既存の場や表現の変容, さらには合一のメディア性も変容しうる。変容へ適応するにはアーカイブが重要で, 変容してなおメディア性を保持できるよう腐心することでサイクルが繋がる**

本日の談義・考察一助

- a. メディア創発で、**各自が不得手とする箇所はどこか**
列挙キーワードをもとに、自分を掘り下げてみてほしい

- b. 一方、**各自が得意とする箇所はどこか**
列挙キーワードをもとに、自分を掘り下げてみてほしい

- c. 上記の2点を踏まえて、**各自はメディア創発の発生をどう受け止めるか**
イメージできる姿を簡潔に説明してほしい

- d. メディア創発を社会に生きるものにするためのアイデアがあれば挙げてほしい

次回予定

Creative Application 総論

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004